

## 第4学年 国語科学習指導案

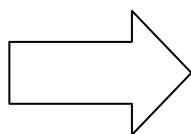
日時 平成26年10月6日(月) 6校時  
児童 男子14名 女子21名 計35名  
授業者 教諭 上森 奈々子

- 1 単元名 「マイ シンクカード」で考えたことを話し合おう  
主教材 「ごんぎつね」(光村図書 4年下)  
補助教材 「きつねの窓」他 登場人物の変化がとらえやすい図書

### 2 単元を貫く言語活動と付けたい力の説明

#### 【付けたい力】

- ・登場人物の性格や気持ちの変化を、叙述に即して読む力。(Cウ)
- ・互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合い、感じ方の違いに気付く力。(Cオ)



#### 【単元を貫く言語活動】

- ・「マイ シンクカード」で考えたことを話し合う。
- ・カードには、「作品名」「作者名」「あらすじ」「登場人物の紹介(設定・性格)」「心にのこる登場人物の変化」「変化の理由」「結末」「感想」をまとめる。

#### 【その特徴】

- ・物語を読んで考えたことを話し合うために、考えのもとになる叙述と、そこから感じたことをまとめていくことで、自分の考えをもつことができる。

### 3 単元について

#### (1) 教材について

小学校学習指導要領における第4学年「C読むこと」の領域の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。また、指導内容は「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」である。

本単元は、場面の展開に沿って登場人物の性格や心情の変化を、叙述を根拠に想像しながら読み、感想や考えを話し合うとともに、一人一人の感じ方の違いに気付くことを主なねらいとしている。本作品は、ごんのいたずらによって兵十との気持ちがすれ違ったまま、最後の悲しい場面を迎えるという展開になっている。1～5場面までは、ごんの視点で書かれているため、ごんの心情やその変化がとらえやすく、6場面は、兵十の視点から書かれているため、ごんを撃ってしまったことに対する兵十の後悔や悲しみを共感しやすくしている。そのため、場面の移り変わりの中でごんの行動の変化とともに兵十に対する気持ちの変化を想像しながら読む力を育てるのにふさわしい作品といえる。そして、このようなごんや兵十の行動に対し、児童はそれぞれ違った感想や考え方をもつことができるであろう。自分の感想をもち友達の感想を聞くことで、ごんや兵十に対して多様な見方・感じ方が育つと考える。

本単元の学習を通して、登場人物の性格や気持ちの変化を、叙述をもとに想像して読むようにさせていきたい。そして、自分の感想をもとに友だちと交流し、感じ方の違いに気付かせていきたい。

## (2) 児童について

児童はこれまでに、4年上「白いぼうし」「一つの花」の文学的な文章を読む経験をしてきている。「白いぼうし」では、叙述に即して読み人物の人柄をとらえる力を付けることをねらい、松井さんの行動や会話文から気持ちを想像し、音読劇を行った。「一つの花」では、叙述を基に想像して読む力、目的や必要に応じて引用する力を付けることをねらいとし、登場人物の思いを想像したり、繰り返し使われる「一つ」に込められた筆者の思いや、場面を比較して「最後の場面」が伝えていることについて考えたりしたことをもとに、本の紹介を行った。本単位につながる言語活動としては、3年下「ちいちゃんのかげおくり」で、心を打たれた場面とその理由を感想にまとめる学習をしている。4年上「一つの花」では、「とくべつな言葉」「心に残る登場人物の行動や会話」「最後の場面」という読みの観点の中から、紹介したい事柄について理由を加えて紹介する活動を行っている。

これらの学習を通して、児童は、叙述に即して登場人物の性格や気持ちを想像し、それぞれの言語活動に向かって自分の考えをもつことができるようになってきている。しかし、登場人物の行動や気持ちの変化に着目し、その変化をとらえる力は十分に身に付いていない。また、グループ読みやクラス読みにおいて、叙述に立ち返って自分の考えの根拠を説明し読みを深めたり、互いの読みの違いに気付いたりする力は十分に身に付いたとは言えない。

以上のことから、登場人物の性格や変化とその理由を叙述に即して読む力と共に、叙述を根拠に考えたことを話し合い、互いの考えの共通点や相違点に気付く力を身に付けさせたい。

## (3) 指導にあたって

本単位では、『マイ シンクカード』で考えたことを話し合う」ということを単元のゴールとして設定する。

「みとおす」段階では、「ごんぎつね」を読んで心に残った場面を話し合ったり、教師が作成した「シンクカード」を提示したりして、「物語を読んで考えたことを話し合う」という活動に見通しをもたせるようにする。また、先行読書してきた本と「ごんぎつね」の共通点から、登場人物の変化に着目して読んでいくという読みの視点に気付かせ、『マイ シンクカード』で考えたことを話し合う」をゴールとして学習の計画を立てる。

「ふかめる」段階では、物語を読み『マイ シンクカード』で考えたことを話し合う」活動に向けて、まず、あらすじをとらえる活動を通して物語全体をつかませる。その後、「登場人物の紹介（設定・性格）」「心に残る登場人物の変化」「変化の理由」「**結末**」の観点に沿って叙述をもとに読み、想像したことや考えたことを「シンクカード」に書きまとめさせる。また、「感想」の部分には、物語を読んで最も強く感じたことと、その理由を100字程度で記述させ、3次で「考えたことを話し合う」際の話題となるようにする。主教材「ごんぎつね」での読み方を活用して、自分が選んだ「マイブック」についてシンクカードに書きまとめることができるように、「ごんぎつね」と「マイブック」を交互に学習していく。

「いかす」段階では、「ふかめる」段階でまとめた「シンクカード」の「感想」をもとに、グループごとに話し合う活動を行う。友だちの発表を聞き、友だちの最も強く感じたことやその理由と、自分の考えとの共通点や相違点を考えながら話し合わせるようにする。

並行読書については、「ごんぎつね」と同じように、登場人物の気持ちの変化がとらえやすい物語を事前に読ませ、友だちと話し合いたいと思う物語を選んでおくようにする。全ての作品を読み、それぞれの作品について、簡単に感想を書きためておく。

#### 4 単元の指導目標および評価規準

##### (1) 単元の指導目標

- 登場人物の気持ちが変化する作品を進んで読み、感じたことや考えたことを話し合おうとする。  
(関心・意欲・態度)
- ◎中心人物の変化とその理由について、叙述を基に想像して読むことができる。(Cウ)
- 互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合い、感じ方の違いに気付くことができる。(Cオ)
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(伝国イ(ア))

##### (2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・登場人物の気持ちが変わる作品を進んで読み、感じたことや考えたことを話し合おうとしている。	・中心人物の性格や変化とその理由を、叙述を基に想像して読んでいる。(Cウ) ・物語の感想を、共通点や相違点を考えながら話し合い、感じ方の違いに気付いている。(Cオ)	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付き、考えたことや感じたことを文章にまとめている。(イ(ア))

#### 5 単元の指導計画（14時間扱い）

学習過程	主な学習活動	教師の支援	評価規準
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>みとおす (2時間) 単元のゴールを知り、 これからの学習のイメージをもつ。</b> </div>	<p>①「ごんぎつね」を読んで心に残った場面について話し合い、「物語を読んで考えたことを話し合う」という活動を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 「マイ シンクカード」で考えたことを話し合おう。 </div> <p>②先行読書してきた本と「ごんぎつね」の共通点から、学習の計画を立て、見通しをもつ。</p>	<p>○心に残ったことや場面については、100字程度で書きまとめた後、挿絵で場面を確かめながら発表し合うようにする。</p> <p>○考えたことや感じたことを話し合うという言語活動を知り、学習への見通しをもたせる。</p> <p>○教師が作成した「シンクカード」を提示する。</p> <p>○「作品名」「作者名」「あらすじ」「登場人物の紹介(設定・性格)」「心にのこる登場人物の変化」「変化の理由」「結末」「感想」をシンクカードにまとめ、考えたことや感じたことを話し合うことを確認する。</p>	<p>★おおまかな学習活動が分かり、見通しをもっている。 (関・意・態)</p> <p>★これから中心人物の気持ちの変化を考え、考えたことや感じたことを話し合っていくことがわかる。 (関・意・態)</p>

ふかめる  
(10 時間)  
「ごんぎつね」での読み方をいかして「マイブック」を読み、「シンクカード」にまとめる。

③④ 考えたことを話し合う活動に向けて、作品全体を読みあらすじを書きまとめる。  
・「ごんぎつね」  
・「マイブック」

⑤⑥ 考えたことを話し合う活動に向けて、登場人物のプロフィールを、「シンクカード」に書きまとめる。  
・「ごんぎつね」  
・「マイブック」

⑦物語の中で、いたずらばかりしていたごんがどのように変わったかを考え、「心に残る中心人物の変化」を「シンクカード」に書きまとめる。  
・「ごんぎつね」

⑧考えたことを話し合うために、ごんの「変化の理由」について想像したことを、「シンクカード」に書きまとめる。  
・「ごんぎつね」(本時)

⑨考えたことを話し合うために、物語の「結末」について想像したことを「シンクカード」に書きまとめる。  
・「ごんぎつね」

○物語の時・場、登場人物、出来事、結末に着目して短くまとめられるように、サンプル文を提示する。  
○「ごんぎつね」のあらすじをとらえる学習を生かし、自分の選んだ作品のあらすじを自力でとらえられるようにする。

○叙述を基に、人物の性格や境遇をとらえ、人物について想像をひろげさせていきたい。  
○プロフィールのモデルを提示する。

○ごんの行動や様子、会話文に着目して読み、変化を考えることをおさえる。

○ごんの行動が「いたずら」から「つぐない」に変わった理由を考えるために、ごんの気持ちを手がかりに読み取ることに気付かせる。

○「結末」では、兵十の視点から物語が描かれていることに気付かせ、ごんの気持ちを想像させるようにしたい。

★物語の設定や、場面の移り変わりなど、物語の展開をとらえながら読み、あらすじをまとめている。(Cウ)

★叙述を基に、人物の性格や境遇をとらえ、人物についての考えを書きまとめている。(Cウ)

★叙述を基に、心に残る中心人物の変化を読み取り、心に残るわけを書きまとめている。(Cウ、オ)

★中心人物の気持ちの変化の理由をとらえて書きまとめている。(Cウ、オ)

★ごんの気持ちを想像して書きまとめている。(Cウ)


	<p>⑩⑪ 考えたことを話し合うために、「マイブック」について、「心にある中心人物の変化」「変化の理由」「結末」を「シンクカード」に書きまとめる。</p> <p>⑫ これまで読み取ったことをもとに、「感想」を100字程度でまとめ、シンクカードを完成させる。 ・「ごんぎつね」 ・「マイブック」</p>	<p>○「ごんぎつね」⑦⑧⑨の学習内容をふり返り、「マイブック」について自分の考えを書きまとめられるようにする。</p> <p>○「ごんぎつね」と「マイブック」について、最も強く感じたこととそのわけを、それぞれ100字程度で書かせる。</p>	<p>★「ごんぎつね」の学習をいかし、「マイブック」を読んで考えたことを「シンクカード」に書きまとめている。 (Cウ)</p> <p>★叙述を根拠に、感想を書きまとめている。 (Cオ)</p>
<p>いかす (2時間) 物語を読んで考えたことを話し合う。</p>	<p>⑬⑭ 「シンクカード」をもとに考えたことを話し合う。 ・「ごんぎつね」 ・「マイブック」</p> <p>⑭学習を振り返る。</p>	<p>○同じ本を選んだ人同士のグループで交流させる。</p> <p>○共通点や相違点について考えながら話し合えるように、学習の手引きを用意する。</p>	<p>★共通点や相違点を考えながら話し合い、互いの考えの違いに気付いている。(Cオ)</p> <p>★今までの学習から、新しく学んだことを書きまとめている。 (Cウ、オ)</p>

## 6 本時の指導

### (1) 目標

登場人物の言動や様子などの叙述に着目して読み、ごんの気持ちの変化を想像してシンクカードにまとめることができる。

### (2) 展開

過程	学習活動と主発問	時間	○教師の支援 ★評価
みとおす	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「ごんの変化」について理由を考えよう。</p> </div>	5	<p>○心に残ったごんの行動の変化について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いたずら→つぐない</li> </ul> <p>○学習の最後には、「ごんの変化」について、その理由をまとめるという見通しをもたせる。</p>
ふかめる	<p>3 ごんの行動が変わった理由について自分の考えをまとめる。 <b>(一人読み)</b></p> <p>◆ごんの行動が、「いたずら」から「つぐない」に変わったのはなぜですか。</p> <p>4 ごんの行動が変わった理由について、考えを話し合う。</p> <p>①グループで交流する。<b>(グループ読み)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の手引きをもとに、友だちの考えを聞き合ひましょう。</li> </ul> <p>②全体で話し合う。<b>(クラス読み)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ごんが、こんなにもつぐなうのはどうしてだと思いますか。</li> </ul>	<p>5</p> <p>10</p> <p>15</p>	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>《(1)ねらいに沿った一人読みの工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを短冊に書かせる。(一つの短冊に一つの考え。)</li> <li>・ごんの気持ちを表した叙述に着目して書かせたい。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>《(2)自分の考えを深める活動の工夫》</p> <p><b>グループ読み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの考えを聞いて、ごんの行動が変わった理由について考えを共有するという目的をもたせる。</li> <li>・短冊に書いた自分の考えと、根拠となった叙述を発表させる。</li> <li>・出された考えを比べて、同じ考えや似ている考えを分類・整理させる。</li> <li>・クラス読みでは、グループで出された考えを整理して、ごんがつぐなう理由をみんなで考えていくという見通しをもたせる。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p><b>クラス読み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2～3つのグループに発表させる。</li> <li>・他のグループには、付け足しの意見を発表させていく。</li> <li>・黒板に短冊を貼りながら、考えを整理していく。</li> </ul> </div>

		<p>○「おれは引き合わない」と思った翌日も、くりを持って兵十のところへ出かけているところから、自分と同じひとりぼっちの兵十へ思いを寄せ、つぐないを認めてほしい気持ちがあることをとらえさせたい。</p>
<p>まとめ</p>	<p>5 ごんが変化した理由をシンクカードにまとめる。        ・ごんの「変化の理由」を、「シンクカード」にまとめましょう。</p> <p>6 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>15</p> <p>《(3)言語活動に結び付く場の設定》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんの「変化の理由」を、今日の学習をもとにシンクカードにまとめさせる。</li> </ul> <p>★ごんの行動の変化の理由を、叙述に即してまとめることができたか。</p> <p>○書きまとめることがむずかしい児童へは、ごんの言動についての叙述を一緒に探し、書きまとめられるようにする。</p> <p>○登場人物の言動を詳しく読んでいくと、登場人物の気持ちの変化について想像を膨らませることができる。</p>

(3) 板書計画

